

平成28年度の始めにあたって 倉吉の未来予想図から設計図へ

春は別れと出会いの時。一気に咲き始めた桜の花の下で、卒業と入学、或いは、家族と離れて新たな職場への旅立ちなど、多くのドラマがあったことと思います。

先日、関金小学校と山守小学校で閉校式がありました。関金小学校は昭和33年に南谷小学校と矢送小学校が統合されて以来58年、山守小学校は明治6年の開校以来142年の歴史を閉じ、今日から新たな関金小学校として出発します。山守小学校の閉校式では、「これからの教育環境を整えるために統合をする決断をした」との統合準備委員長、「我々の世代で判断してよいのか迷い、苦渋の決断をした」とのPTA会長さんの言葉、そして、慣れ親しんだ最後の校歌と子供たちの新しい学校への希望に満ちた快活な校歌が心に残っています。そして、3月26日には、PTA会員、地域の皆様、教職員、教育委員会職員で力を合わせて、山守小学校の学校備品を関金小学校へ運び、新しい出発の準備をしました。

倉吉市教育振興基本計画（第2期 平成28～32年）を策定しました。引き続き、「行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域」をめざして取り組めますが、この5年間の大きな課題は、倉吉市立小・中学校の適正配置の推進と地域に誇りと愛着を持つ次世代育成です。

本年は、「平成28年度 倉吉市の教育方針と重点施策（案）」のとおり、心新たに取り組んでまいります。

教育環境の整備充実では、成徳小教室棟の建替、明倫小教室棟の耐震工事を行います。この工事が終われば、平成19年から取り組んできた26棟の学校耐震化事業（約48億円）はすべて完了します。また、学校統合に係る関金小学校の改修、小嶋小学校の増築、上灘小体育館跡地整備、防災拠点整備として西中の体育館横トイレ改修などを行います。

学校教育では、「豊かな心とたくましく生きる力を持つ子どもの育成」をめざして、土曜授業を年5回小中学校で実施します。各地域の皆様の協力をいただきながら、地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動をいっそう推進していきます。また、学力向上では、外国語指導助手を増員し、小学校3年生からの英語教育導入に対応します。そして、「豊かな心とたくましい体の育成」をめざして、いじめや問題行動の防止・不登校対策のためにスクールカウンセラー等相談体制の充実を図ります。

社会教育では、「倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進」をめざして、生涯学習課、公民館、博物館、図書館、文化財課の機能を活用し、「いつでも・どこでも・だれでも・ともに学び、地域力を育む」よう取り組みます。今年、4課が協同して「山上憶良 伯耆守赴任1300年プロジェクト」に取り組みます。図書館では、第4回大会で合計3552首の応募があった「山上憶良短歌賞」の全国公募に取り組むほか、シンポジウムや演劇を開催します。生涯学習講座の開催、夏休み体験教室での「土器づくり」等、博物館の「奈良・平安時代展示」などに取り組みます。

また、平成28年度全国高校総体自転車競技が桜地区にある倉吉自転車競技場で実施されます。倉吉市実行委員会ではその準備をしています。いよいよ7月に近づきました。先日の行われた全国選抜大会でも、準優勝や入賞をするなど高校生も大活躍をしています。市民の皆様も応援をよろしくお願いします。

倉吉市では少子高齢化がさらに進んできています。このたいへんな事態に対応するため、「倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（倉吉市未来いきいき総合戦略）」を定め、「第11次倉吉市総合計画【後期基本計画】」を策定し、関連付けながら、具体的に推進していきます。

倉吉市教育委員会では、「倉吉市立小・中学校の適正配置等について（平成24年）」の答申を受けて「倉吉市立小・中学校の適正配置の具体案【草案】（平成25年）」を提案し、市民の皆様と意見交換をしてきました。それらを取りまとめて「倉吉市立小学校適正配置推進計画」を策定しました。これに基づき、各小学校区で説明会を開催し、夏以降は各小学校区の代表が集まり、課題やその解決方法等を検討していきます。その後統合準備委員会を立ち上げ、施設整備やスクールバスの準備等を進め、具体的に計画を推進していきます。

倉吉市教育振興基本計画（第2期）は5年先を見通した未来予想図ですが、そこから具体的な設計図を描き、実行へ移していかなければなりません。時代の流れを読み、課題をしっかりと見つめ、その解決に立ち向かわなければなりません。今を生きる私たち大人の決断が、明日の子どもたちの未来を保障するのだと考えます。

平成28年4月1日

倉吉市教育委員会教育長 福井伸一郎